



前方展望
シリーズ

特急はくたか 金沢～越後湯沢



● RB-130457R / 182分 6,270円 (税込)

※本品はBD-Rでの販売です。

- 撮影日 / 2006年8月24日 晴時々曇
- 撮影列車 / 1009M 特急はくたか9号 681-3系9両編成 クハ681-8
- 展望区間 / 金沢 (10:14 発) ⇒ 越後湯沢 (12:53 着)

■ 本編の概要 ■

本作は北陸新幹線金沢開業前の展望映像です。今や第三セクター化された金沢～直江津では、多種の特急列車や国鉄形の普通列車、EF81形が牽引する貨物列車などが車窓を賑わせてくれます。金沢を発車し、森本辺りまでは既に完成している北陸新幹線の高架線を見て走る。津幡で七尾線が分れ、俱利伽羅峠を越えると富山県に入る。高岡を経て、神通川を渡ると富山に着く。泊を過ぎると日本海が広がるが、新潟との県境付近を走るのでトンネルも多くなっていく。糸魚川には新幹線用地確保ため、取り壊されてしまったレンガ作りの機関庫も姿もある。糸魚川から直江津にかけては長いトンネル区間が続く。直江津では運転士が交代し、犀潟からは北越急行線に進んで行く。北越急行線内は、虫川大杉で1分ほど運転停車をするが、最高速度160km/hで一気に駆け抜ける。六日町で上越線に合流し、南下して行き、街並が広がり上越新幹線が頭上に接近してくると終着の越後湯沢である。

◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆

※本作の映像は2006年に収録しています。収録の映像や解説、駅名等につきましては、当時のものですので、あらかじめご承知おき下さい。
※運転手の喚呼音、運転室の操作音、車内放送音を収録しています。



金沢を発車。右側には既に完成した北陸新幹線の高架線も見える。



金沢総合車両所には、停泊しているブルトレ「北陸」の姿も見える。(金沢～東金沢)



高岡では国鉄色にリバイバル塗装された475系と遭遇する。



富山発車直後に「北越」とすれ違う。「はくたか」と共に新幹線金沢開業時に使命を終えた。



右側を並走する富山地铁の電車と顔を合わせる。(滑川～東滑川)



特異な出で立ちの419系は、北陸地区で約四半世紀にわたり活躍した。(黒部～生地)



親不知トンネル内で、「トワイライトEXP」と一瞬の出会い！(市振～親不知)



青海を通過。当時はセメントを扱う貨物列車が発着していた。



長いトンネル区間が続くが、つかの間に見える日本海が美しい。(有間川～谷浜)



JR西日本とJR東日本との境界駅である直江津では、運転士も交代となる。



犀潟の先で信越本線から分れて、北越急行線(ほくほく線)に踏み入れる。



防音壁がない高架線を走るので、眼下に広がる田園地帯の眺めもいい！(犀潟～くびき)



新幹線の駅のような十日町を通過。右下にはJR飯山線の気動車が見える。



六日町で上越線に合流し、再びJR区間を走る。



石打では、先行していた普通列車を追い抜くシーンが見られる。



終点の越後湯沢に到着。列車は折り返して、金沢への途につく。

※キャプチャ画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。

■ 前方展望 (R) シリーズは、テラダプロジェクトの登録商標です。

パンフレット作成 2025年3月

Terapro@Direct